

かわだや かわら版

「挨拶



かわら版愛読者の皆様、こんにちは。代表の河田です。

いよいよ秋本番、とても過ぎしやうい季節になりました。気がつくともあと2カ月あまり、1年はあつという間ですね。

これから徐々に寒くなってきましたが、風邪などひかない様、気を付けてください。

さて、前号でも触れましたが、秋といえは「食欲の秋」。気候が良いせい何か何を食べてもおいしく感じ、ついつい食べ過ぎてしまいがちですね。人間も熊のように寒い冬に向け脂肪を貯めようとするそうです。余計なことしなくても良いのですが・・・
ここはひとつ貯めすぎないように、適度に体を動かしたほうが良さそうですね。運動した次の日はとても頭がスッキリして体の調子が良くなりますよ。

私たちも”心も体も健康に”喜ばれる仕事が出来ようこれからも取り組んでいきます。



【今月の1冊】



前号はお休みさせていただきましたが、読書の秋ということで復活しました。

今回は「なぜ部下はリーダーの足を引っ張るのか？」という本をご紹介します。

この本、タイトルだけ取ると困った部下の対処法が書かれているようにも思えますが、本屋でちょっとのぞいたところ、タイトルの印象とは全然違う内容で、リーダーと部下たちの信頼関係を築き、良いチームを作るためにどうするか、ということが書いてある本でした。

本の中に”フォロワーシップ”という言葉が出てきます。フォロワーシップとは、「チームの成功のために、メンバーがリーダーや同僚を全力で支える影響力」とあります。

私たちの職種は現場ごとに何人かで対応していくことが多いのですが、現場にはそれぞれ職長がいて、人の管理、時間の管理、材料の管理、進め方の管理等をほとんど任されているので、職長にものすごい重責がかかります。しかし、実際現場で作業しながらそれらを管理することは、非常に難しいので、現場より1つ大きなチームのリーダー（私たちでいうと会社の社長）がフォローする必要が出てきます。

しかし、現場の人達が「材料これくらい使いそうだ」や「この作業は後これくらいで終わりそうだ」など職長の負担を少しでも現場で減らすことが出来るようになれば、大きなチームのリーダーは負担も減り、前に意識を多く持っていけるので、次の発展に繋がっていきます。

この本を読み終えて思い浮かんだのが、ラグビーの精神でいう”ワンフォアオール・オールフォアワン”「1人はみんなの為に、みんなは1人の為に」という言葉でした。チームの勝利の為にゴールへ向かって1人1人が自分を犠牲にしながらか協力し合う、まさしくフォロワーシップの精神だと思いました。

私たちも皆で協力し、支えあいながらこれからも頑張っていきたいと思います。

ペンネーム よしろー

平成23年10月

第13号

（向かわだや 発行）



【今月の1冊 番外編】

おいも掘りの季節ですね。わが子も先日、幼稚園でおいも掘り遠足に行ってきました。

この時期になると、必ず子ども達に読んで聞かせるのが、「さつまのおいも」という絵本です。土のなかでおいもが生活している様子、たまたまなくほのぼのします。



おいも掘りにやってきた子ども達に引っこ抜かれるさつまいも。でも、最後に大どんでん返し！

秋の夜長に、子ども達に読んであげてはいかがでしょうか？2歳ぐらいから小学校低学年まで楽しめると思います。

ペンネーム すーぱーまりお

